# 概要

この人種は出生率が高く、身体も他の種より丈夫なため、広い地域に住んでいたが新人種に迫害を受け、駆逐された民族が多いため絶滅したと言われている。

## ババ人

世界各地に分布していた人種。元はコーリプス人と容姿が似ていたが住む場所によって容姿がまばら。自分を白人だと思っているババ人もいたらしい。特有の文字と言語を持っていたが、かなり昔に滅んだため詳細は不明。

## ラグ人

ンリッヒと同じ文法で話す人々。過去に接触があった可能性が示唆されている。

容姿としてはイーラット人に近い。比較的熱帯に住んでいるが、分布はまばら。

かつては独自の宗教を持っていたが他宗教に圧倒され消滅している。ラグ語を話し、イーラット人からは軽蔑されていた。特に西成国に存在していたラグ人自治区ではジェノサイドが行われており、自治区内人口における西成人の人口の方がラグ人の人口を僅かに上回っていた。制暦1650年頃にはついに滅ぼされたとされる。

## サン人

起源が不明の人種。言語、文化は疎ら。容姿はイーラット人に似ておりユーラネシアに分布していた。少数民族であり常に迫害を受けてきた。人口はかなり少ないが近年では人口の急激な増加が見られ、特にアスガルドでは人口の1％に達しようとしている。サン人の中でもアスガルドに住むサン人は白人との混血が進んでおり容姿もほぼ白人である。

今後50年でサン人のアスガルド人口に占める割合は20％になると予想されていたが、第一次世界大戦の時に東翼同盟の兵士として参加させられ、アクアートの要塞でほぼ鏖殺された。

生き残りはアース人やアクアート人と混血し、純血は滅亡した。一応特有の言語は持っていたが、今は失われている。国際機関による解読作業中。